

中高生 平和の祈り歌に

「永遠の平和を私たちはあきらめない」——。ロシアによるウクライナ侵略が続く中、多摩大学付属聖ヶ丘中学高校(多摩市)の生徒たちが、メッセージソング「Peace Forever」を作った。戦禍に苦しむウクライナに向けた子どもたちの平和への祈りが込められた曲は、16日に「コミュニティラジオ」FM「FMたちかわ」の番組でお披露目される。

(長内克彦)



「聖ラジオ」の番組宣伝で、FMたちかわの生放送に出演した(右から)土方さん、菊池さんとパーソナリティーの高井さん(14日、立川市で)

ウクライナへ思い きょう披露 FMたちかわで

曲を作ったのは、同校のESS(英語部)に所属する生徒たち。きっかけは、6月下旬の部活動中にウクライナの惨状が話題に上ったことだった。

「大人は普段、人と仲良くとか、人を殴ってはいけないと言っているのに……」「戦争は嫌だし、矛盾

している」といった意見が出される一方で、平和につながる活動として、オリジナルの曲作りが発案されたという。

日本語と英語がほぼ半分ずつの歌詞は、部員たちが中心になって考えた。「世の中を見渡せば、人種差別に武器を持った戦争の繰り返し、ホントにホントにこれでもいいのか、僕たちの未来奪わないで」「Peace forever so we shall never give up(永遠の平和を私たちはあきらめない)」「と歌っている。

作曲はESSの顧問の藤沼隆一教諭が担当。発案から1週間ほどで曲が完

成し、部員や生徒有志約10人が歌の収録に参加した。

完成した曲「Peace Forever」は、同校が「FMたちかわ」で制作し、16日午後7時から放送予定の「聖ラジオ」の番組内で発表される。

14日夕には、16日の聖ラジオで司会役を務める高1の土方勇輝さん(15)と中3の菊池瑠菜さん(14)が番組宣伝のため、FMたちかわの生放送「パークサイド・スクエア」に出演。パーソナリティーの高井順子さんから、この歌について問われると、「戦争が続くことは不安。平和で穏やかな世の中になるように、少しでも動いてくれたら」などと、歌詞に込めた思いを説明した。

FMたちかわは、スマートフォンアプリ「リスンラジオ(リスラジ)」でも聴くことができる。聖ラジオは18日午後9時から再放送される。